

2021.6  
No.143

# 膳所 市民ニュース

ZEZE CIVIC NEWS



発行 膳所まちづくり委員会  
編集 情報発信部  
膳所市民ニュース編集班  
(膳所市民センター内 ☎077-524-2205)

市民ニュースHPには、お知らせやトピックス掲載中。

## おかわりありませんか

～挨拶から始まる声掛け・訪問活動～

「こんにちは。おかわりありませんか」の挨拶で始まるひとり暮らしの高齢者宅への訪問。訪問するのは民生委員児童委員の小野弘美さん（家中町・大津町担当）です。時には近所の方たちも加わり、ひとときの触れ合いと憩いの場が生まれます。お弁当を持って行ったときは、涙を流して喜んでいただいたとか。「いつもありがとうね」その一言がとてもうれしいと話されます。

## 住民の立場に立った 民児協の歴史



民生委員児童委員は、厚生労働大臣から委嘱され、それぞれの地域で住民の立場に立って必要な助言や援助、福祉サービスを適切に利用するための情報提供などを行っており、民生委員児童委員と、児童福祉を専門に担当する「主任児童委員」2人がいます。

民生委員制度は、1917年に岡山で誕生した「済世顧問制度」に始まり、1923年の方面委員制度を経て、1946年に「民生委員」に名称が改められ、現在に至っています。膳所町大津市合併50周年記念誌によると、滋賀県では1923年に県独自の窮民対策として「滋賀県保導委員制度」が始まり、その名簿には膳所町保導委員として宮角太郎吉さんなど3人の名前がありました。これが膳所での民生委員活動の始まりとされています。



現在、膳所学区では5つの神社区に分かれて34人の民生委員児童委員が活動しておりますが、会長の山元正造さん（木下町・大竹町担当）は令和元年8月に前会長の齋賀治通さんから会長職を引き継がれました。

## ひまわり隊を表彰

登下校時の児童の見守りなどを行う「ひまわり隊」が、心の教育にかかる行動を継続しているとして、5月27日（一社）滋賀県教育会から表彰されました。関係者には「おかげさまで子どもが安心して登下校できます」など感謝と祝福の声が多く寄せられています。

## 特集 膳所を見守り、安心を支える 民生委員児童委員

皆さんは民生委員児童委員をご存知ですか。民生委員児童委員は、住み慣れたまちで、誰もが安心して暮らし続けられるよう、地域の見守りや相談活動を行っている方々です。膳所学区では、現在34人の民生委員児童委員が日々、活動されています。今号では、膳所で活動されている「膳所学区民生委員児童委員協議会（民児協）」を紹介します。

## 孤独死に遭遇 再発防止を誓う

【会長】山元正造さん

「一昔前までは、『ちょっと醤油、貸して』といったことから、近所付き合いが自然と生まれていた。悩みや困り事も近所の付き合いの中で解決した」と言う山元さん。少子高齢化や核家族化の進行により、ひとり暮らしの高齢者が増加し、地域コミュニティの希薄化に危機感を抱いています。隣近所の方に聞いても「知らない」と言われることが多くなり、孤独死に遭遇した経験もあるそうです。「もう少し出来ることがあったのでは」と悔やむこともあり二度とこのような悲劇が起こらないように、民生委員児童委員の定例会で再発防止を誓ったそうです。「どんな小さな変化でもいいので、担当地域の民生委員児童委員に知らせてほしい」と山元さんは話します。

昨今のコロナ禍の下、訪問活動が困難な状況にありますが、電話での安否確認はとても大切だと言います。携帯電話を持たない高齢者もまだまだ多く、自宅の固定電話に掛けても電話に出られないときは、自宅まで足を運ぶという山元さん。「コロナ禍で家にひきこもりがちになり、体調が悪くなっても外に出なくなっている」と、健康面での心配や「もっと民生委員児童委員の活動を知ってもらえるようにしなければ」と周知啓発の必要性を強く話されます。

## 広報紙

## 「ぜぜまちあかり」で活動をPR

民児協では、年2回、広報紙「ぜぜまちあかり」を発行し、活動のPRに努めています。「ぜぜまちあかり」は平成16年5月に「膳所民児協だより」として第1号を発行後、第4号から現在の名前に改め、現在第36号まで発行しています。担当地区の民生委員児童委員の名前や連絡先、民生委員児童委員の業務内容も丁寧に書かれており、是非手に取って読んでいただきたいとのことです。



## いつでもどこでも 声掛けを大切に

高田 實さん（北相模町・行啓町担当）

「今日は天気もいいし、洗濯日和やな」と道端で出会った高齢者の方には声を掛けるのは、2010年から民生委員児童委員を務めている高田 實さん。出会った方は、「高田さんと道で出会ったら、いつも声を掛けてくださり、とても嬉しいんですよ」と話されます。ひまわり隊の隊員でもある高田さんは、毎朝、小学生の登下校時の見守り活動を行っていますが、昨今、子どもたちを取り巻く環境が多様化・複雑化し、ネットいじめや児童虐待、貧困などの残念なニュースが後を絶たず、胸を痛めているそうです。高田さんは、いじめをしている感覚のない子どもが多く、当然ながら、その子の親にも伝わっていないため、特にその対応に苦慮されているようで、「相談内容が多様化し、対応が難しくなってきた」と悩みを打ち明けながらも、「とにかく粘り強く話を聞くことが大切」として、これからも地域のために活動を続けていきたいと話します。



## 向こう三軒両隣

～地域の皆さんに寄り添い、  
一緒に見守り活動を～



民生委員児童委員の高齢化が進み、なり手不足が課題と言いますが、山元さんは「膳所は情に厚い方が多く、つながりが強いまち」と共感者が現れるのを期待しています。膳所学区社会福祉協議会と合同で行う研修会や講演会、膳所幼稚園園庭開放「ちびっこ広場」など、地域でのつながりを大切に参加されており、「向こう三軒両隣。これからは地域とともに、一緒に見守り活動を行っていきたい」と話します。

悩みや困り事がある方は、民生委員児童委員にお気軽に相談してください。民生委員児童委員には守秘義務がありますので、秘密は絶対に漏らしません。安心してご相談ください。

## ★9月19日(日)総合防災訓練

なぎさ公園や膳所学区内の公共施設等で滋賀県総合防災訓練が行われます。今回は特に避難行動要支援者を対象とした避難訓練(滋賀モデル)や膳所高校での避難所運営訓練、膳所学区内の避難所との連絡や被害状況確認訓練のほか、山手地域の避難所として民間施設にご協力いただく予定です。詳細は自主防災会や自治連合会から後日案内がありますので可能な限りご参加ください。ただし新型コロナの感染状況により参加規模を縮小したり内容を変更する場合がありますのでご承知ください。



# 膳所のこども食堂

「こども食堂」とは、地域住民や自治体などが、無料または低価格で子どもたちに食事を提供する場のことを言いますが、

帰りが遅くなる保護者や子どもたちが集まって食事することもあります。つまり、子どもたちが手作りで温かい食事を大勢で食べられるだけでなく、地域の大人が子どもを見守る場、地域の子どもや大人たちが集まるコミュニケーションの場でもあるのです。

## せせこども食堂運営委員会

膳所市民センター調理室でお持ち帰り用のお弁当の準備をするのは、「せせこども食堂運営委員会」のスタッフの皆さん。膳所ふれあいセンターで会をスタートしてから今年で4年目、昨年夏から少しでも密を避けようと市民センターの調理室と和室を使うようになりました。開設しているのは毎月第3木曜日。スタッフは午後3時頃から調理をはじめ、子どもたちの食事は午後6時半頃から8時頃までの間です。会の運営は助成金とスタッフの負担金で賄われていますが、代表の西田賢一さんは「今回はコロナの事もあるのでお持ち帰りできるようにしました。子どもたちは毎回14名ぐらいが申し込んでくれています。スタッフが高齢化しつつあるので、是非若い方に協力をお願い



いたいです」また「準備の都合上、必ず事前にお申し込み下さい。小学生以下は無料ですが、中学生は100円、保護者には200円のご負担をお願いします」とのことです。



## 占いかフェ恐竜や

膳所でもう一軒のこども食堂は、膳所大手門通り（膳所神社から膳所城跡公園に至る市道）の中間あたりにある喫茶・食堂「占いかフェ恐竜や」さん。「占いかフェ恐竜や」さんのこども食堂は小中高生、専門学校生、大学生が対象で登録メンバーは現在13人。開設日は毎週月曜日営業時間が終了してからの基本ですが、月曜日以外でもメンバーの子どもたちから「おなか減った」とLINEが入れば通常通り無料で受け入れておられます。「占いかフェ恐竜や」さんへのお問い合わせは、☎077-532-1200まで。



# 地域で学ぶ膳所小

## 歴史資料室で野外学習

膳所小5年生4クラス約120名が6月1日と2日「膳所の良さを考える」学習の一環で膳所市民センター2階膳所歴史資料室を訪問。



城下町膳所の良さを歴史の面から学んでいました。児童に城下町の成り立ちや歴史、街道文化を話した膳所歴史資料室運営協議会では、児童たちの学習の成果を膳所のまちづくりにも生かしていきたいとのこと。



## 地域との協働事業を

地域と連携した学校運営をはかるために設置された膳所小学校・学校運営協議会が5月23日に開催され、今年度から奇数月に定例会を開催し、学校夢づくりプロジェクト事業を地域として支えていくことを確認しました。

## 地域をつなぐつながる

### ひきこもり・不登校の相談窓口「フリールームえこ〜」

全国に100万人以上いると言われているひきこもりと不登校。近年、深刻な社会問題となっています。そのような状況下、膳所では不登校やひきこもりなどに悩む人々を支援する「フリールームえこ〜」が活動をしています。

えこ〜の代表を務めるのは、中庄一丁目在住の伊藤 茂さん。様々な活動を通して昔と今の子どもの変化が気になり始めていた時に、同じ石鹿太鼓メンバーの奥村明美さんも、家族だけで孤立され、誰にも相談出来ない不登校やひきこもりやその予備軍が多いことに危機感を抱き、2018年6月、中庄一丁目の自分の店舗内に相談窓口となる事務所を開設。電話や対面による相談をはじめ、市や市社協などの支援機関につなげる活動を続けています。

### 相談者に寄り添い、共感する

「フリールームえこ〜」の『えこ〜』とは、音の広がり感を生み出す「こだま」「やまびこ」をイメージ。相談者に寄り添い、スタッフも一緒に共感するという想いが込められているそうです。

相談の中で共通して言えることは、本人の多くは心を閉ざし、自分の気持ちを話せずにいるため、家族は何に困り、苦しんでいるのか理解出来ずにいるということだそうです。本人を理解することより、社会的・経済的な自立を考える家族からの、「いつまでひきこもっているのか」という一番言われたくない言葉で、本人はより一層、自分の殻に閉じこもってしまうとのこと。奥村さんは「一

緒に進んでいける仲間や安心して駆け込める場所が必要」と痛感したそうです。

そこで、より社会的な責任を担ってこうと、市役所OBの藤田隆司さんを加えて2019年7月、「えこ〜」を一般社団法人化に移行するとともに、毎月1回、親の居場所として家族の会「えこちゃんステーション」を開設。同じ悩みを持つ者同士のワークショップや意見交換会を続けています。初めは緊張していた参加者も、心に閉じ込めてきたものを徐々に開放していかれたそうです。「決して諦めず、見放さず、気長に粘り強く支援を続けたい」。伊藤さんは語気を強めます。

今春には、当事者と家族の言葉を収録した冊子「子の心親知らず 親の心子知らず」を発行しました。「あなたの優しさに癒されている人、救われている人がたくさんいるんだけどな……。今は伝えても届かないかな。(中略)自分の道を見つけて行くことを、ゆっくりジックリ、陰ながら応援しているからね」。冊子には、子どもに対する親の素直な気持ちが原文のまま書かれています。(冊



子は膳所市民センターに置いており、自由にお持ち帰りいただけます。ただし数量に限りあり)

## 膳所だからこそ続けられる

伊藤さんは「膳所はあたたかい町。地域の人が見守ってくれるからこそ、私たちも活動を続けられる」と言います。地域住民とのつながりを築くことで、活動の輪が広がることを期待されています。

「えこ〜」の面談日は毎週水・日曜日、予め電話かメールで相談希望日時を教えてください。(相談は無料で秘密厳守)。「えこ〜は、つながりをつなぐを大切にしています。誰かとつながり、ぬくもりと安心して住みやすいまちになる」がスタッフの思いです。

決して抱え込まず、安心してご連絡ください。

### 一般社団法人フリールームえこ〜

大津市中庄一丁目15-23  
京阪中ノ庄駅から東へ徒歩2分  
TEL 090-8235-7906  
090-4298-9689

e-mail ekou0611amaneku@yahoo.co.jp

滋賀咲くブログ フリールームえこ〜 検索

# 一枚の写真から part 4

今回は杉浦町界隈にあった古い建物の写真2点(平成15~17年 巽和夫氏撮影)を紹介します。旧東海道を瀬田唐橋方向に向かって歩いていくと、瓦ヶ浜を過ぎたあたりで東に曲がりますが、その角にあった大きな商家が油三(あぶらさん)です。かつては許可制だった食用油のほか、文具、農機具など数多くの品物を扱う問屋さんで、堂々とした建物は瓦ヶ浜から宮町にかけてのランドマークにもなっていました。

油三のご子息の友人で、油三でよく遊んだという山元寛昭さんは「ものすごく大きな家で、入ってすぐのところが吹き抜けになっていました。お母さんが開放的な方でしたから、家の中で卓球をしたり、裏庭で缶蹴りをして遊ばせてもらっていました」と懐かしそうに話されていました。

## 「総合問屋 あぶらさん 油三」と「瀬田口総門の番舎」

油三から若宮八幡神社を過ぎると城下町膳所の瀬田口総門跡に至りますが、そこには総門を出入りする旅人を監視するための番舎がありました。江戸時代、この番舎を過ぎれば松並木が続き、瀬田の唐橋はもうすぐでした。



油三



瀬田口総門の番舎

### 膳所のお地蔵さま② 「子授け地蔵」

本多神社の境内に残されている古墳の玄室奥には、「子授け地蔵」という名前と呼ばれたお地蔵さまが祀られています。古墳の石棺に像高85cmのお地蔵さまが刻まれており、滋賀県内で3例しか見つかっていない貴重な石棺仏です。

本多神社は膳所藩主本多俊次の別邸お浜御殿の跡に創建されたもので、お浜御殿が整備された約360年前には既に墓が暴かれており、そのことを哀れに思った藩主が地蔵菩薩を刻ませて祀ったのではないのでしょうか。



## 膳所で茶摘み

4月27日、膳所幼稚園やPTAなどの主催により、幼稚園児による茶摘みが行われました。お茶の木は、幕末の日本にやってきたアメリカのペリー提督に日本茶として初めて出されたのが膳所茶であることを知ってもらおうと生涯学習センター西側にセンターボランティア「チャオ」の皆さんや膳所幼稚園の園児たちが植えたものでした。5年経って立派に育ったお茶の新芽を、園児たち18人はボランティアの皆さんの力を借りながら摘み取ると、手で揉んで乾かし新茶づくりに挑戦



しました。企画した膳所幼稚園PTA会長の後藤祐紀さんは「おいしい新茶を子どもたちにも保護者にもぜひ味わっていただき膳所の歴史も学んでほしい」とのことです。

## 歴史資料室 夏季企画展 「近江の石と膳所の石造物」

- 期間 令和3年8月14日(土)~8月22日(日) 午前10時~午後4時
- 場所 膳所市民センター2階 膳所歴史資料室 入場無料
- 主催 膳所歴史資料室運営協議会

膳所城跡公園入口から正面に見える「膳所城址」と刻まれた石碑はご存知ですか。この石碑の石は沖ノ島から運ばれたものと考えられています。同じように膳所の社寺などには多くの石造物が残され、膳所とその周辺には石坐、石神、石山、石場、大石、石居など石の付く地名もたくさんあります。夏季企画展では、滋賀の自然と生活文化を研究してこられた長 朔男さんが滋賀県内で採取された様々な石と膳所に残された石造物の写真を展示し、石と人々の暮らしの関りを紹介します。



○小中学生への特別解説 「近江路をめぐる石の旅」著者 長 朔男さんが小中学生を対象に8月22日(日)午後2時から1時間程度、展示鉤物の特別解説をされます。受講ご希望の方はハガキに住所、氏名、学校名、学年、電話番号をお書きいただき、7月31日までに膳所支所または〒520-0812 木下町7-6 寺田智次 までお申し込みください。先着15名様で締切ります。なお、参加者には長さんからプレゼントもあります。

## 各種団体の総会は書面表決へ

新型コロナウイルスの変異株が広がりを見せているため、膳所学区の各種団体でも総会は会員全員の出席を求める方式から、昨年同様書面による表決方式への変更が相次ぎました。自治連合会、社会福祉協議会、プリングアップ、体育振興会、「人権・生涯」学習推進協議会など膳所学区の多くの団体では書面表決の結果、事務局提案の議案が原案通り承認されています。詳しくは各団体にお確かめください。

## 夏まつりや運動会はどうなるの？

各種団体の総会が書面表決に変更される中、今年も昨年同様に、夏まつりや運動会は中止になるのかとの問い合わせが関係者にきています。膳所学区自治連合会6月会長会議でも同様の質問がありましたが、主催者の膳所観光協会や体育振興会では、7月中に会員からの意見をもとに判断し周知することです。



## 毎月『家庭の日』は、常設展を公開

膳所歴史資料室運営協議会では、7月より毎月第3日曜日(10時~15時)は開館し、常設展示を公開することになりました。常設展や企画展開館時には「膳所城跡印」の販売も行いますので是非ご家族でお越しください。ご希望の方には展示室ボランティアが説明も行います。



## 大型台風 どう備えるのか

- 3日前** 進路を確認  
ベランダや家の周りの点検  
排水溝の掃除
  - 2日前** 進路と勢力を確認 水や食料の確認  
乾電池や携帯ラジオなど停電への備え  
もしものときの家族同士の連絡方法の確認 自動車燃料満タンに
  - 24時間前** 暴風域に入る時間を確認  
窓ガラスの飛散防止を  
避難が必要な時はすぐに膳所市民センターなど指定の避難場所へ
  - 12時間前** 備蓄などの確認
  - 6時間前** 外出はしない! 停電、断水などに備える
  - 台風通過** 自宅内の安全な場所に
- 停電時の知恵**  
ペットボトルに水を入れて凍らせておくと停電時、冷蔵庫内の保冷材になります



# 神秘の池 御霊殿池

明治16年発行の滋賀郡志によれば、当時の膳所（現在の富士見学区と晴嵐学区の一部を含む）には灌漑用として23のため池がありました。今日でも膳所藩により築造された御用池など多くのため池が残されていますが、そのなかで神秘の池、あるいは竜神の池と呼ばれているのが「御霊殿池」です。

相模川の上流、鳴滝不動の滝水となっている小さな川に沿って約30分歩くと急斜面になりますが、そこを這うようにして上ると御霊殿池です。その斜面は、御霊殿池の堰堤で、今から



約300年前、享保9年(1724年) 619人の人足によって築かれたと膳所藩郡方日記にあります。竜神伝説もさることながら、立ち入ることも困難な谷間に巨大な堰堤を築いたヒトの力にこそ驚かされるため池です。

## コラム 膳所の漁師の昔話 ⑥

### 「昭和20年夏の事」 田中政之

公民館講座でもお話ししましたが、私が2ヵ月余りの新兵教育と3ヵ月の気象術練習生教育を受けて島根県新川基地に配属されたのは、終戦間際の7月初めでした。任務は数字ばかりの信号を翻訳して上官に報告し、上官が高層気象図を作成、それを特攻隊員に届けたりしていました。届けた時に特攻隊員から年齢を聞かれ、こっそりキャラメルをポケットに入れていただいたこともあり。食卓当番は新兵の仕事でしたが、食事の後の小休止中敵機グラマンの機銃掃射があり、おびえた上官が私の毛布を取り上げ被っていたときにはあきれました。8月7日食事の準備をしていると、上等水兵から「昨日広島にピカドン(原爆)が落ちた」と聞かされましたが、広島と島根はかなり距離があり実感はあり

ませんでした。8月15日誰も食事に来ないと思ったら、昭和天皇が日本の降伏(終戦)を国民にお知らせになった、いわゆる玉音放送のあった日でした。昭和20年私が15才の夏の事です。



### 田中さんと市民ニュース編集長の対談「戦争を語る」

5月16日(日)膳所市民センターにて、コラム連載中の田中政之さんと寺田智次編集長の対談形式により、太平洋戦争に至る明治から昭和の歴史や田中さんの軍隊での体験を聞く会が開かれ、小中学生を含む参加者35人は田中さんたちの話に熱心に耳を傾けていました。なお、田中政之さんは、長年にわたる公園等の美化活動の功績が認められ、令和3年度ごみ減量と資源再利用推進賞を受賞しておられます。

## 漢字パズル

膳所商店街  
《協賛》

□の中に漢字1文字を入れて、矢印の方向に2字熟語4つができるようにしてください。

正解者の中から3名の方に、膳所商店街商品券(千円相当)をプレゼントします。  
応募方法/ハガキに答と住所、氏名、面白かった記事や感想をご記入の上、「〒520-0812 大津市木下町7-6 寺田智次」まで。  
メ切/令和3年7月25日消印有効。  
当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。なお前回の答は「生」でした。

ヒント:この漢字が付く神社やお寺もあります。

問題 化  
↓  
重 → □ → 仏  
↓  
頭

例題  
一  
↓  
芝 → 生 → 卯  
↓  
命

### 膳所商店街のお店と事業所(順不同)

- フォトハウスアワズ(杉浦町7-11) ●金波(丸の内町9-30)
- 中山製茶(中庄2-1-58) ●富永園茶舗(膳所2-10-15) ●
- いとう呉服店(中庄1-15-23) ●御菓子司亀屋廣房(本丸町3-7)
- 中塚電機(中庄1-13-12) ●高木生花店(中庄1-15-10)
- 澤常商店(本丸町2-15) ●竹内自転車店(杉浦町19-16)
- 竹喜(中庄1-9-13) ●HAIR MAKE PROOF OF POWER(中庄1-11-19)
- 京都新聞膳所販売所(秋葉台11-5) ●ふくち寝装サラダ館膳所店(中庄1-21-6)
- 山本石材店大津店(相模町2-44) ●もも薬局(丸の内町9-30)
- 池田生花店(膳所2-2-21) ●文具まつら(相模町4-12)
- 貴宝堂よこの(丸の内町4-38) ●つる家(本丸町2-8) ●
- 田中花店(本丸町5-52) ●馬杉湖魚店(本丸町1-3) ●ガジェットハウス(膳所2-10-13)
- 澤建設工業所(膳所1-4-20) ●滋賀銀行膳所支店(本丸町1-18) ●松田常盤堂(本丸町5-56)
- いのうえ(丸の内町4-41) ●西久興産(膳所2-13-6)
- 読売センター膳所(丸の内町4-40) ●加藤酒店(木下町13-1)
- 京都信用金庫膳所支店(本丸町1-1) ●ライフハピネス(御殿浜7-22) ●昭和カフェ(昭和町3-29)

### こぼれ話② 「膳所にゆかりの魚 ゼゼラ」

希少種となっている淡水魚「ゼゼラ」という魚をご存じでしょうか。7~8



センチほどのコイ科の魚ですが、膳所の沖で見つかったことからゼゼラと名付けられました。

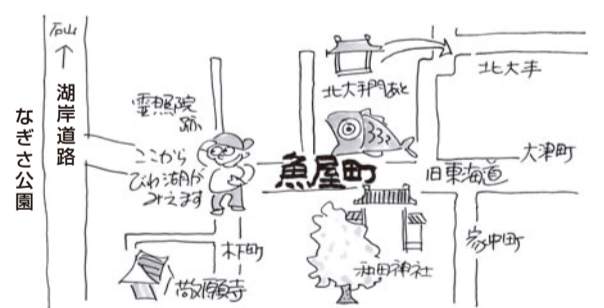
かつては琵琶湖でもよく捕れたそうですが、産卵する葦帯の減少やブラックバスなどのせいで膳所ではほとんど見かけることができなくなりました。

### 第13話

### 町名に歴史あり「魚屋町」

江戸時代、八大竜神と呼ばれていた和田神社前の通り約100メートルの間には、魚を販売するお店があったことから魚屋町と呼ばれています。魚屋町という町名は京都や彦根にも残っていますが、魚は貴重なたんぱく源として人々の暮らしに欠くことができませんでした。古地図には武士の住いは名前入りで記されているものの、町家でど

のような商いがされていたのかについて書かれたものはありません。町名は庶民の暮らしを考える上で貴重な史料でもあるのです。



## 読者からのお便り

市民ニュースの読者の方から、クイズへの回答に併せて前号(142号)の記事などについての感想をたくさんいただいていますので、一部を紹介します。

★「ウォーキング」楽しく読ませてもらいました(別保1 Tさん)桜の時期にピッタリでした。茶臼山方面は行かないけれど一度歩いてみようと思いました。レンガ塀のことも面白いですね(木下町Sさん)楽しく読ませてもらい勉強になりました(中庄Iさん)膳所の町を散歩してください、まるで自分が散歩している気分になりました。コロナでマイナスの面しか見られなかったですが、コロナに気を付けながら今できることをみんなで見つけ、膳所の町を活性

化させる活動をしていきたいです(丸の内町Eさん)1面の地図、温かみのあるものでした。カラーで見たいと思う箇所も(におの浜3 Tさん)近江大橋入口の歩道も拡幅されてあんしんしてあることができている(本丸町Kさん)★「レンガ塀はアート」12カ所もあるとは知りませんでした。Gの刻印も知りませんでした。一度探してみます(木下町Hさん)イギリス積みフランス積み興味津々!(西の庄Nさん)以前よりよく見るレンガ塀気になっていました。レンガ工場はどのあたりだったのだろうとか思いを巡らしています(木下町Yさん)知らなかったことが次々と、よく調べておられます。今年には膳所の桜を写真にします(湖城が丘Kさん)★「町名に歴史あり」瓦ヶ浜とか御殿浜は昔琵琶湖が迫っていたみたいですね(秋葉台Kさん)

★「お花見さんぽ」近場の桜の名所が認識できてよかったです。簡単な地図もわかりやすかった(木下町Kさん)★「コラム」膳所の雑学やお花見散歩も含めてたくさん取材に感謝しております(湖城が丘Tさん)地道に桜の若木を植え替えられているのに感動しました(御殿浜Hさん)★「その他」膳所市民ニュース届くのを楽しみにしています。読みどころ満載でとても楽しいです。読者からのお便りもあり作られている方の熱意に感謝です(丸の内町Yさん)町を自転車で走っていてもJRの車窓からも桜満開です。雨の降る前に畑仕事に精を出しておきましょう(別保2 Kさん)町の様子を写真と記事で説明されているので親しみを持って読ませていただきました(膳所1 Sさん)